

平成30年度 事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1 事業概要

平成30年度の契約金額は2年ぶりの増額であります。会員数は6名減の127名で2年連続の減少となりました。

前年度契約金額58,866千円に対し344千円増額の59,210千円(内訳:請負契約額49,182千円、労働者派遣契約額が8,022千円、有料職業紹介契約額が2,006千円)です。

請負契約では、2者が請負契約から派遣契約に切替わったことと、受注件数の減少により約2,640千円の減額となりました。草刈り及び剪定契約以外のほとんどの職種において減額となったが、派遣事業において、受注件数が2者増の約1,850千円の増額、有料職業紹介事業も約460千円増額となり、両事業併せて10,028千円の契約額となりました。

しかし、請負事業の減少が止まらず、派遣事業の伸びにより請負事業のマイナス分をカバーしているのが現状であります。

高齢者にも働くことに意欲的な者と意欲的でない者も多くみられ、新入会員の減少につながっているものと思われます。

会員拡大が当面の重要課題として捉え、いろいろな方策をとりながら、人手不足問題の解決に寄与するシルバー人材センターを周知するとともに、当センターにおける会員の活躍を促進できるよう努めます。

以下、平成30年度の主な事業について報告します。

2 会員拡大及び就業機会提供事業

毎月の町広報掲示板や独自の啓発チラシには、当センターの独自事業の紹介及びシルバー人材センターの魅力について掲載し、町内の公的基幹、ショッピングセンターやハローワークにも設置し、周知啓発を図りましたが、結果的には町民の反応は鈍く、また、新規会員加入を紹介した会員には報償費支給制度を設けましたが、全く成果はありませんでした。

今後は、退会会員の減少を図るため就業先の改善等を図っていきたい。また、シルバー人材センターのイメージを変えるためにも、独自事業の紹介等町民に発信して行きたいと思います。

(1) 独自事業の推進

① 買い物支援移動販売事業

町単独受託事業として2年目を向えました。販売地区は山崎地区、ケアハウスみんなの家、境・大平地区、笹川地区と下横尾の4地区3町内を対象に週1回、まめなけ市場の商品も併せて移動販売を実施しました。

年間の利用者延べ人数では、2,452名で前年度比11%の増となり、全地区において増員となりました。

総販売額では前年度比約30%増額の4,530千円となりました。(内訳：シルバー人材センター3,220千円、まめなけ市場：1,310千円) 取扱い手数料は約158,000円です。

② 認知症カフェ事業

「オレンジカフェほっとアイリス」は4年目をむかえ、毎月1回開催の延べ人数は前年度とほぼ同数313名の参加でした。

町の協力体制がしっかりしているため、運営に関しては、スタッフ一同多めに参考にしながら毎回の対応に当たっています。

参加者は、歌ったり、聞いたり、話したり、身体を動かしたり、「本当に楽しかった」と言っておられます。

③ 高齢者軽度生活援助事業

介護保険サービスを優先とするため、金銭面及び意思決定の面で事業実績を計上できませんでしたが、今後も町と連携を図りながら進めて行きたいと思います。

④ 門松作り

日頃お世話になった事業者等に安価で販売。公共施設の朝市にも出店し、家庭用の小さな門松に人気があり、大中小60本製作。

⑤ 生きいき農園・農産物の生産及び販売

センター農園(借地)で会員が栽培した葉物野菜等をセンター事務所で安価で販売しています。会員はもちろんサロンの利用者やロコミで買いに来る方もいます。

3 普及啓発活動

① 「シルバーの日」を10月7日に開催。

公共施設くらくち〜の>及びショッピングセンター<アスカ>駐車場において施設周辺の美化奉仕活動を行いました。会員の半数を上回る72名が参加し、シルバーパワーを町民にアピールしました。

② 女性会員の集い

女性会員の交流及び会員確保のため、「女性の集い」を開催。昼食を兼ねていろいろな情報等を提供しながら交流を深めました。参加者 24 名。

③ 鍋祭り（芋煮会）

生きいき農園実行委員会では、生産した里芋、白菜等の野菜を利用して芋煮会を開催し、沢山の町民の皆さんにも味わっていただきました。

④ 健康麻雀大会

「飲まない、賭けない、吸わない」をもっとうに、仕事が少ない2月に開催しました。平素、付き合いのない会員との交流を深めながら、久方ぶりの指先の運動と脳の活性化を図りながら、多いに楽しみました。

参加者 21 名。

⑤ 刃物研ぎ講師派遣

射水市シルバー人材センターからの依頼により、刃物研ぎ人材育成講師として当センターから担当会員を派遣しました。

⑥ ねんりんピック朝日町会場ボランティア参加

選手の弁当係として参加。また、手作りの布ぞうりブースを出店し、シルバー人材センターをアピールした。

4 安全・適正就業活動

① 安全健康教室及び安全就業研修会

全会員を対象に「健康運動実践指導者」講師による安全健康教室を開催しました。併せて、その両日において、全国及び富山県内シルバー人材センターの重篤事故案件を例えに、転倒事故の多発性について安全就業の研修会を開催しました。更なる個人意識に係る周知徹底を図りました。

② 安全講習会等の開催

草刈り班では、道路等の安全対策、飛び石対策、堤防等の法面、川沿い等の草の刈りかたについて講習会を開催しました。

飛び石による対外事故はありませんでしたが、自損傷害事故が1件でした。

清掃班では、屋内清掃の最新技術について2日間講習会を開催しました。

また、11月には県シ連主催の高齢者人材育成事業として、「施設清掃スタッフ技能講習会」を当センターで開催し参加をしております。

剪定班では、近年、全国的に転倒事故が多いため5月のスタート前に事業計画と併せて安全対策について注意喚起をしております。